

違憲の戦争法は廃止！

南スーダンPKO駆けつけ警護をやめよ！

ちょうど一ヶ月前の9月19日未明、安倍政権は圧倒的な反対を無視して戦争法を強行採決しました。私たちはこの日を安倍政権が憲法を蹂躪した日として決して忘れません。政府・与党は「議場騒然 聴取不能」と書かれた特別委員会の議事録を「可決すべきものと決定した」と改ざん、付帯決議まで捏造して、戦争法成立を正当化しようとしています。絶対に認められません。そもそも戦争法は憲法違反です。憲法に反する法律は無効です（憲法98条）。いますぐ廃止すべきです。

安倍首相は先の国連総会の演説で、戦争法の成立によってPKO（国連平和維持活動）の「駆けつけ警護」も可能になったことなどをあげ、日本を安保理常任理事国に入れるよう求めました。恥ずべき事です。「駆けつけ警護」とは他国領土での武力行使、戦争行為にほかなりません。過去の侵略戦争の過ちを否定し、甚大な被害を与えたアジアの国々や民衆に謝罪もしない日本政府が（戦後70年安倍談話）、「日本はもっと戦争に協力するから常任理事国に入れろ」というのです。

私たちは海外派兵を行うPKO活動そのものに反対です。戦力の不保持と戦争の放棄を謳った憲法9条に反しています。1992年に自衛隊が初めてカンボジアPKOに派兵されて以降、日本は多くのPKO活動に参加してきましたが、当初まがりなりにも国道や橋の修理、人道援助とされたPKO活動は危険度も増し、武力で住民に対峙するなどPKOそのものの活動が変質してきています。

「駆けつけ警護」は戦争することです！

「駆けつけ警護」とは、これまでのPKOの活動とは全然違うものです。数人の自衛隊員が駆けつけて敵を追っ払い、味方を救出する、というようなものではありません。装甲車で起動する機関砲や対戦車砲・ロケットなど重火器で武装した戦闘部隊が、銃弾や砲弾が飛び交う戦闘現場に飛び込んで行き、敵の「武装勢力」を殲滅する軍事作戦です。制空権の確保のために戦闘ヘリ部隊まで必要になるのです。現在派遣されているのは道路補修などを行う「工兵部隊」ですが、これにかわって戦闘部隊が交代で派遣されることになります。



自衛隊がPKOで派兵されている南スーダンは、停戦合意が崩れ、政府軍と反政府軍の武力衝突が起き、兵士と住民が入り交じる武力紛争となっています。自衛隊がPKOに参加する前提条件さえすでに崩れています。

自衛隊が駐屯する首都ジュバの国連PKO宿営地に避難民が駆けつけており、そのなかで自衛隊が「駆けつけ警護」を行えば、自衛隊が政府軍、反政府軍による泥沼の内戦にかかわっていくことになります。殺し、殺されることになるのは間違いありません。憲法9条をもつ国として絶対にやってはなりません。（2015年10月19日）



写真はいずれも今年6月モンゴルで行われたPKOの多国間訓練。陸上自衛隊実働部隊が初めて参加した。「暴徒化した住民」を武力で鎮圧したり、銃撃戦・制圧作戦などの訓練が行われている。PKOは戦争そのものだ。（youtubeなどより）

〇〇。〇。リブインピースからのご案内。〇〇。〇。

伊丹自衛隊基地周辺観察フィールドワーク

日時：11月8日(日曜日)午前10時30分

JR伊丹駅西口階段下コンビニ「ハートン」前集合



今回訪れる伊丹自衛隊駐屯地は陸上自衛隊第三師団の司令部が置かれ、イラク復興支援活動やPKOにも参加してきました。しかし戦争法成立によって駆けつけ警護や任務遂行のための武器使用などが解禁されれば、従来の「人道支援」「復興活動」とは全く違う、正真正銘の軍隊として海外派兵が行われることとなります。「殺し、殺される」ことが現実のものになるうとしているのです。

戦争は町の中にあります。伊丹基地の外からも戦争で使われる戦車、装甲車、軍事物資輸送のための軍用トラックなどが見えます。これが自衛隊員とともに戦地に送られます。フィールドワークで戦争を身近なものに感じ、戦争法廃止の声を広げて行きたいと思います。是非、ご参加下さい。

スケジュール

総監部前下車(運賃210円)。

陸上自衛隊中部総監部正門前の「史跡摂津伊丹廃寺跡公園」へ移動。

中部総監部周辺散策。

ずいがいけ 端ヶ池公園を通り、こやいけ 昆陽池公園を散歩。

昼食とリクレーション。※昼食は持参をお願いします。

徒歩20分で陸上自衛隊第三師団周辺に到着。周辺を散策。

へいたん 兵 站用軍用トラック、車両などが駐車していて、たくさん見えます。

15時30分頃終了予定



(問い合わせ 090-3849-1867 小林)

リブインピース@カフェ 「南スーダンPKO 駆けつけ警護とは戦争すること」

日時：11月29日(日曜日)13:30～16:30

西成区民センター(地下鉄岸里、天下茶屋駅下車)

第一部

□「駆けつけ警護」は、戦闘現場に突入して敵を殲滅する軍事作戦 映像視聴)

□内戦状態の南スーダンPKO

□防衛省が、「戦闘地域」派遣を想定し戦傷者救護を検討 ほか

第二部

伊丹フィールドワーク報告

リブ・イン・ピース☆9+25

TEL 090-5094-9483(事務局 大阪) E-mail liveinpeace_heiwa@yahoo.co.jp

<http://www.liveinpeace925.com/> http://blog.goo.ne.jp/liveinpeace_925